

暑さで脳が溶けた？それとも手抜き？

そうではありません！数字や表の多用は頭の整理に有用だからです

いまだに、60歳になったからもういけるな、
 といふ人がいます
 とは、何回も読んでるから分かってる。しか
 し、自分自身の区切りとして、年齢を基準にこ
 だわりたい」ということであるのかも知れませ
 ん。

どんな年齢の人が生活保護を受けているのか？
 「最近の夜間学校ニュースは、数字や表が多い、暑い日が続
 いて脳ミソが溶けたのではないか。」

「いや、あれは、書くことが無くなったので、スペースを埋
 めるための手抜きなんだろう。」

というウワサが飛び交っている、という話は、どこからも伝
 わってきていませんが、人から言われる前に、先に書いておき
 ます。そして、「そんなことではないのです」と釈明をしてお
 きます。(こういうのを、「マッチ、ポンプ」と言う?)

生活保護に関する数字は、現実の反映です。今回紹介する表
 は、生活保護を受けている人の年齢構成を示したものです。

「もう65になったから」、あるいは「60になったから、そろ
 そろ生活保護にいつてもいいかな」といふ人が、まだ、後を絶
 ちません。

「まだ」といふのは、夜間学校ニュースを配っている側の気
 分で、「生活保護活用は、困窮の事実によるのであって、何歳
 であるかは関係がないのです」と、これまで伝え続けているの
 に、「まだ」浸透しきっていないと多少ガツカリする気分です。
 夜間学校ニュースを読む側とすれば、「年齢が問題でないこ

大阪市		19歳以下	20~39歳	40~49歳	50~59歳	60歳以上	総数
2009年	21年度	14.1%	8.8%	8.8%	13.4%	54.9%	100.0%
2005年	17年度	15.0%	8.5%	6.8%	14.6%	55.1%	100.0%
1995年	7年度	13.7%	6.8%	10.0%	18.6%	51.0%	100.0%
1985年	60年度	24.5%	10.0%	14.4%	17.1%	34.0%	100.0%
1975年	50年度	27.1%	14.9%	15.3%	11.7%	31.0%	100.0%
1965年	40年度	33.8%	19.0%	13.3%	11.0%	22.8%	100.0%
西成		19歳以下	20~39歳	40~49歳	50~59歳	60歳以上	総数
2009年	21年度	5.0%	4.2%	5.6%	13.7%	71.5%	100.0%
2005年	17年度	5.2%	3.7%	3.3%	12.3%	75.4%	100.0%
1995年	7年度	7.2%	3.6%	7.9%	19.0%	63.6%	100.0%
1985年	60年度	15.5%	6.8%	13.9%	21.2%	42.5%	100.0%
1975年	50年度	24.5%	13.7%	15.4%	12.3%	34.1%	100.0%
1965年	40年度	32.9%	20.8%	12.7%	10.6%	23.0%	100.0%
施設		19歳以下	20~39歳	40~49歳	50~59歳	60歳以上	総数
2009年	21年度	0.0%	3.2%	10.3%	30.5%	56.0%	100.0%
2005年	17年度	0.0%	2.5%	7.2%	31.6%	58.7%	100.0%
1995年	7年度	0.0%	1.1%	7.6%	28.8%	62.5%	100.0%
1985年	60年度	0.0%	4.3%	20.2%	35.5%	40.0%	100.0%
1975年	50年度	1.5%	19.2%	28.2%	23.1%	28.0%	100.0%
1965年	40年度	5.2%	31.5%	21.8%	20.5%	21.0%	100.0%
1955年	昭和30年	5.5%	58.5%	18.9%	12.0%	5.1%	100.0%
1946年	昭和21年	28.3%	50.2%	10.7%	5.6%	5.2%	100.0%

生活保護受給者・施設利用者の年齢構成比とその推移

市更相

梅田厚生館

実際に、生活保護を利用している人の年齢構成を見ても、60歳以上が五割を超えています。大阪市も、西成区も、施設利用者も、1995年以降そうなっています。ですから、60歳を超えれば、生活保護活用してもおかしくはない年齢だと、自分自身で得心しやすいといふことはあるかも知れません。

しかし、数字は、よくよく考えて理解しなければいけません。団塊の世代は、1947年から1949年生まれの約800万人といわれます(1946年から1954年という人もいるようです)。1947たす60は2007年。生活保護受給者で60歳以上が過半数を超えるようになるのは、それよりも前の1995年ですから、60歳になった人の人口の中に占める割合が増えたから、生活保護受給者の中での比率も増えたということではありません。

単純に、大阪では、60歳以上で生活を支えるだけの仕事にありつけない人が、1995年以降に増えたことの現れです。60歳を基準に、生活保護を選択したといふことの結果ではありません。いつの時代も、困窮の事実に基づいて、年齢に関係なく、生活保護を活用しています。(それが困難な時代もありましたが)

下の表は、表の表の元になった数字です。単位は人。
 西成区、今年の7月現在で、生活保護を受けている人は23,111人。今年7月では、もっと増えていると思われます。大阪市もそうです。60歳以上で1万6千人を超えています。50歳代が3千人、40歳代が千人を超えています。アナタは今何歳ですか。年齢でなく、困窮の事実に基づいて生活保護の活用を考えましょう！

大阪市		19歳以下	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上	総数
2009年	21年度	17,276	2,998	7,740	10,799	16,435	29,589	37,771	122,608
2005年	17年度	15,276	2,331	6,305	6,959	14,926	27,515	28,583	101,895
1995年	7年度	6,103	1,109	1,916	4,487	8,295	11,072	11,717	44,699
1985年	60年度	14,130	1,332	4,444	8,329	9,838	8,851	10,733	57,657
1975年	50年度	12,998	1,742	5,396	7,333	5,607	7,030	7,808	47,914
1965年	40年度	10,231	1,687	4,056	4,039	3,343	3,677	3,234	30,267

西成		19歳以下	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上	総数
2009年	21年度	1,156	226	736	1,290	3,174	6,352	10,177	23,111
2005年	17年度	1,083	203	574	681	2,558	8,052	7,608	20,757
1995年	7年度	574	115	175	627	1,517	2,445	2,632	7,985
1985年	60年度	1,175	109	408	1,051	1,604	1,479	1,735	7,561
1975年	50年度	1,569	210	666	982	786	1,088	1,093	6,394
1965年	40年度	927	161	425	358	298	346	302	2,817

施設		19歳以下	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上	総数
2009年	21年度		9	55	209	617	743	392	2,025
2005年	17年度		9	56	186	812	985	525	2,573
1995年	7年度		3	29	229	864	1,270	602	2,997
1985年	60年度		15	119	623	1,097	826	410	3,090
1975年	50年度	65	125	689	1,196	980	827	364	4,246
1965年	40年度	174	328	729	733	688	475	228	3,355
1955年	昭和30年	344	2,054	1,576	1,171	745	283	34	6,207
1946年	昭和21年	2,189	2,719	1,163	831	433	296	108	7,739